

オリックス サステナブル融資開始

香港船主向け パナマ型2隻

オリックスは17日、船舶ファイナンスでのサステナブル・リンク・ローンの提供について香港船主との間で合意、契約を締結したと発表した。同

年間CO₂（二酸化炭素）排出量を基準値とし、融資実行後に同船の年間CO₂排出量が基準値未満となつた場合、翌年1年間の金利を優遇する。

オリックスでは、海運の脱炭素化、サステナビリティー（持続可能性）を金融面から後押しする船舶ファイナンスとして、初の取り組みとしている。

融資金額は約2100万ドルで、融資期間は3年間。CO₂排出量は、第

三者機関の日本海事協会（NJK）が算出することで客觀性と公平性を担保する。

契約は常石集團（舟山）

造船建造のパナマックス

バルカー2隻に関する融

資（既存融資の借り換え）となる。融資対象船舶の